

科目コード	授業科目名	単位数・学期	受講年次	授業区分	担当教員名
16133	音楽史	2単位 後期	1～2	講義	高瀬 澄子 三島 わかな (非)

■テーマ 舞台芸術の世界

■授業の概要

各種の論点を通して、音楽史の諸相を講義する。今年度は、舞台芸術をテーマとして、歌舞伎やオペラの様々な作品を取り上げる。

■到達目標

- ・提示された論点の意義を理解していること。
- ・音楽史上の様々な事象や音楽作品に対し、問題意識を持てるようになること。
- ・授業で培った問題意識を、自らの制作・演奏・研究に活かせるようになることが望ましい。

■授業計画・方法

第1回～第5回は高瀬、第6回～第14回は三島、第15回は高瀬・三島が担当する。

1. オリエンテーション
2. 歌舞伎1：仇討（あだうち）
3. 歌舞伎2：首実検（くびじっけん）
4. 歌舞伎3：侠客（きょうかく）
5. 歌舞伎4：変化（へんげ）
6. オペラ1：最初期のオペラにみる男女観
7. オペラ2：オペラ文化のアイドル的存在・カストラート
8. オペラ3：ジグシュピールと母語
9. オペラ4：オペラ・ブッフアにみる抒情性と技巧性の一体化
10. オペラ5：「楽劇」を洋の東西で比較
11. オペラ6：文化振興の起爆剤とオペラ
12. オペラ7：ジャポニズム作品の誕生と日本での受容
13. オペラ8：時事オペラにみる価値観の問い直し
14. オペラ9：現代におけるオペラの展開
15. 全体のまとめ、および定期試験

■履修上の留意点（授業以外の学習方法を含む）

- ・平成30年度以降入学者の履修科目である。
- ・毎回の授業において、コメントペーパーの提出を求める。
- ・試験の詳細については授業中に予告するので、各自、参考資料を探し、準備しておくこと。

■成績評価の方法・基準

□方法 平常点（コメントペーパーの提出状況）30%、定期試験70%

□基準 到達目標を観点として、履修規程に定める「授業科目の成績評価基準」に則り評価する。

■教科書・参考文献（資料）等

□教科書 適宜プリントを配布する。

□テキスト 適宜プリントを配布する。

□参考文献 藤田洋『歌舞伎ハンドブック第3版』三省堂2006。
中野京子『おとなのための「オペラ」入門』講談社2009。
神木勇介『オペラ鑑賞講座超入門』青弓社2012。